

教科	技術・家庭科（家庭分野）	学年	第 3 学年	担当者	谷田 早紀
----	--------------	----	--------	-----	-------

【教科目標】

生活の営みに係る、見方考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的体験・体験的な活動を通して、より良い生活の実践に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成。

【使用教科書・教材等】

教科書 「新しい技術・家庭（家庭分野）」東京書籍
「技術・家庭科総合ノート」家庭分野 明治図書

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	（家庭分野） わたしたちの成長と家族地域 ・ 私たちと家族 （どのように成長してきたのか） ・ 幼児の心身の発達と生活 ・ 幼児と遊び ・ 生活習慣の習得	・ 学習内容、学習の留意点について知る。（ガイダンス） ・ 幼児期を振り返り、自分の成長を家族や周囲の多くの人々が支えてきてくれたことを知る。 ・ 幼児の心身の発達の特徴について知る。 ・ 発達には個人差があることと、成長発達には周囲のかかわり方が大切であることを知る。 ・ 基本的な生活習慣自立について知る。 ・ 幼児にとって遊びとは、心身の発達に大きく関わりのあることを学び、遊びの役割や遊びの種類と発達能力の関係、環境との関係などについて考える。 ・ 幼児の成長を考えたおもちゃを製作することができる。おもちゃの製作を通して、幼児の発達について理解を深める。	教科書 ファイル 資料プリント
2 学 期	（家庭分野） わたしたちと幼児のふれあい ・ おもちゃの製作 ・ 幼児のいる施設を訪問	・ おもちゃの製作→ 幼稚園へ訪問し、幼児と触れあう。幼児とのふれあいについての意義や注意点を考え、実習に備え、準備をする。 ・ 幼児と主に関わる家族の役割を考え、幼児の生活環境について理解することができる。 ・ 幼児のおやつについて理解し、調理することができる。	教科書 ファイル 実習材料 実習道具
3 学 期	（家庭分野） ・ 子どもにとっての家族 ・ 中学生にとっての家族 ・ 中学生としての自立を考える	・ 家庭や家族の基本的な機能を知り、子どもを取り巻く社会的環境や子どもを守る条例や法律についても考える。 ・ 家庭生活が地域の人々とのつながりのなかでも成り立っていることを理解する。 ・ 幼児の基本的な生活習慣の自立に関わり、食生活や衣生活についても考え、調理実習などで食生活のポイントも抑える。 ・ 自分と家族との生活を振り返り、中学生としての自立について考える。	教科書 ファイル ワーク

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や技術について基礎的な理解をしているとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている	生活や社会の中の問題、課題について、その解決を目指して表現するなど適切に工夫・創造している	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し充実向上するために主体的に実践しようとしている 学習の内容を振り返り、自己の生活に活かそうとしている
評価の方法	単元テスト ワークシート レポート	単元テスト ワークシート	単元テスト 授業取組状況 ワーク レポート 振り返りカード

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・ 教科書・ファイル・準備物を事前に準備して参加しましょう。忘れ物をせずに授業に集中できるようにしましょう。
- ・ 話を静かに聞く姿勢や、話し合い活動を大切に、集中して授業を受けましょう。
- ・ プリントは丁寧に書きましょう。（黒板に書いてあることや人の発言や先生の説明をメモするなど書き方を工夫する）
- ・ 質問や考えたこと、疑問点を積極的に発表して、授業内容の理解を深めましょう。
- ・ プリントやレポート・作品の提出期限を守り、丁寧に仕上げ提出しましょう。
- ・ 実習に根気よく、丁寧に取り組みましょう。（基本的な技能を身に付けて、工夫して作品が完成できるようにしましょう。）
- ・ 実習道具を正しく使い、安全に気をつけて、協力し合い取り組みましょう。
- ・ ワークや教科書(両方とも3年間使用)を丁寧に扱い、無くさないようにしましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ①自分の生活を見つめ直すことが必要です。
- ②どうしてそのようになっているのか、どうしてそうするのかを考えましょう。
- ③正解が1つじゃない時もあります。
- ④クラスの仲間の意見を聞くことを大切にしましょう。
⇒いろいろな考え方があることに気付くことで、自分の考えを広げたり深めたりしよう